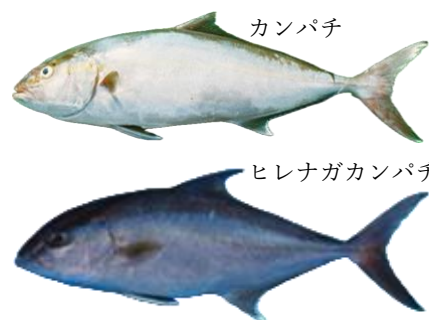


かんぱち伊豆諸島周辺海域

評価対象種：カンパチ類（伊豆諸島海域）



令和6年4月

資源の水準と動向「高位・横ばい」

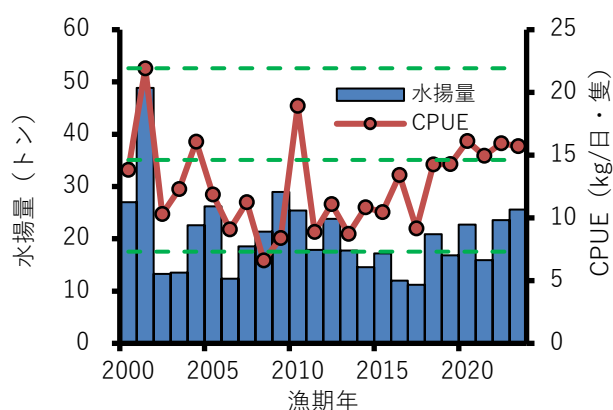


図1 水揚量とCPUEの推移

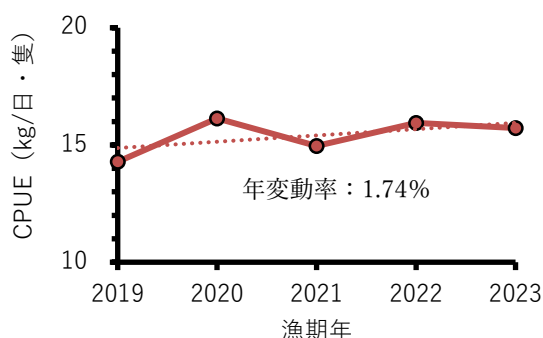


図2 一本釣りCPUEの年変動

伊豆諸島海域におけるカンパチ類（カンパチ、ヒレナガカンパチ）の水揚量は、概ね10～30トンで推移し、最大値は2001年の49トンである。

CPUE（一本釣り漁業1日1隻あたりの水揚量）は、2000～2015年の平均値11.9 kg/日・隻と比較して、2016～2022年の平均値が14.2 kg/日・隻であり、近年若干高い。

本資源評価票の資源量指標値はCPUEとした。2023年における資源の水準は、CPUEが最大値となった2001年の21.9 kg/日・隻の2/3以上である15.7 kg/日・隻のため「高位」とした（図1）。

資源の動向は、直近5年間のCPUEから算出した年変動率が1.74%で年間±5%以上の増減でないため「横ばい」とした（図2）。

生態学的特性

○分布・回遊：東京都では、伊豆諸島海域から小笠原諸島海域に分布

○年齢・成長：カンパチ（飼育下）の平均尾叉長は満1年で46.3 cm、満2年で67.8 cm¹⁾

小笠原諸島において一本釣りで採集したヒレナガカンパチの平均尾叉長は、雄64 cm、雌62 cm²⁾

○成熟・産卵：カンパチ（飼育下）の産卵期は4～7月³⁾

ヒレナガカンパチの成熟開始尾叉長は60 cm程度、産卵期は5～9月²⁾

○被捕食関係：甲殻類や魚類などを捕食する肉食性

東京都におけるカンパチ類漁

○漁業：周年漁獲される。

○漁法：一本釣り、ひき縄、定置網により漁獲される。

○管理：三宅島では、定置網漁業で漁獲される本資源について東京都資源管理方針に基づく資源管理協定を策定し、自主的資源管理（禁漁期間の設定）に取り組んでいる。

- 1) 川辺勝俊・木村ジョンソン・安藤和人・垣内喜美男. 1998. 小笠原諸島父島における養成カンパチ2年魚の自然産卵. 水産増殖, 46(1), 31-36.
- 2) 加藤憲司・岡村陽一・木村ジョンソン・吉田勝彦・竹之内卓夫・三木 誠. 1990. 小笠原海域におけるヒレナガカンパチ天然魚の生殖腺の成熟. 水産増殖, 38(1): 81-87.
- 3) 川辺勝俊・加藤憲司・木村ジョンソン・岡村陽一・安藤和人・斉藤 実・吉田勝彦. 1996. 小笠原諸島父島におけるカンパチの親魚養成と採卵. 水産増殖, 44(2): 151-157.